



## 世界史 B 問題

はじめに、これを読みなさい。

1. この問題用紙は 14 ページある。ただし、ページ番号のない白紙はページ数に含まない。
2. 解答用紙に印刷されている受験番号が正しいかどうか、受験票と照合して確認すること。
3. 監督者の指示にしたがい、解答用紙の氏名欄に氏名を記入すること。
4. 解答は、すべて解答用紙の所定欄にマークするか、または記入すること。所定欄以外のところには何も記入しないこと。
5. 問題に指定された数より多くマークしないこと。
6. 解答は、必ず鉛筆またはシャープペンシル(いずれも HB・黒)で記入のこと。
7. 訂正する場合は、消しゴムできれいに消し、消しくずを残さないこと。
8. 解答用紙は、絶対に汚したり折り曲げたりしないこと。
9. 解答用紙はすべて回収する。持ち帰らず、必ず提出すること。ただし、この問題用紙は、必ず持ち帰ること。
10. 試験時間は 60 分である。
11. マークの記入例

良い例	悪い例
	

[ I ] 次の文章の空欄(①~⑩)にあてはまる最も適当な語句を選び、記号(A~D)で答えなさい。

ヨーロッパの中世を終わらせ、近代を用意したといわれる英仏百年戦争の原因を求めれば、それはノルマンディー公ギヨームが英仏海峡を渡って、1066年に  
① の戦いで勝ち、イングランド王ウィリアム1世として即位したことにさかのぼる。

これによりノルマンディーがイングランド領となった結果、イングランド軍はノルマンディーからセヌ川を遡れば一気にフランス王国の中心部を衝けることになったからである。

緊迫の度合いは、南仏アキテーヌ公国の女相続人アリエノール=ダキテーヌが1152年にフランス国王ルイ7世と離婚し、  
② と結婚したことをきっかけに高まる。  
② が相続により1154年にイングランド王となり、  
③ を開いた結果、妻の相続財産であるアキテーヌ公国(ギユイエンヌ公領)と合わせると、大陸にフランス王国をしのぐ広大な領地を領有することになったからである。

果たせるかな、イングランド王国とフランス王国は領地をめぐって戦争を開始したが、1214年のブーヴィーヌの戦いで、フランス王フィリップ2世がイングランド王  
④ を破ったことで領地問題は一応の決着を見た。これによりフランスはロワール川以北のイングランド領を獲得し、かつてないような領土を保有して王権は安定を迎えた。

一方、大陸の領土の多くを失って「欠地王」と呼ばれるようになった  
④ は、カンタベリー大司教の叙任問題でローマ教皇と争って破門されるという失態を演じたばかりか、重税を課そうと試みて貴族の反乱を招き、1215年には大憲章(マグナ=カルタ)にサインせざるをえなくなり、課税には貴族や平民の同意を必要とすることとなった。

これに対して、フランスでは長期に渡って君臨した強力な王が何代も出て盤石な王権が確立されたかに見えたが、フィリップ4世の後、短命な王が相次いで、350年近く続いたカペー朝は断絶し、王権は傍系の  
⑤ フィリップ6世に

引き継がれた。

ところが、この王位継承を巡って、フィリップ4世の娘イザベルの長男であるイングランド王 ⑥ がフランス王位を主張したことから、百年戦争が始まった。戦争はイングランド軍の長弓隊の活躍などもあり、イングランド優勢のうちに進んだ。イングランド軍は、1346年にフランス北部の ⑦ でフランス軍を破り、続く1356年の ⑧ の戦いでは ⑨ 率いるイングランド軍がフランス王ジャン2世を捕虜とした。

この間、フランスは1347年に黒海沿岸から伝わった黒死病の大流行によって人口の3分の1を失ったばかりか、各地で農民反乱に見舞われ、さらに国力を疲弊させていった。

フランスの国難はさらに続いた。内戦にイギリスが介入したため、フランスは国家滅亡の危機に瀕したからである。だが、フランスを救えという神の啓示を受けたと称する農民の娘ジャンヌ＝ダルクがシャルル王太子のもとに現れ、1429年に ⑩ の包囲を破った結果、戦局は逆転した。イングランド軍はジャンヌ＝ダルクを捕らえて火刑に処したものの、次第にフランス軍に追われて、カレーを除くフランス全土から撤退を余儀なくされた。

こうして英仏百年戦争は終りを告げ、フランスは即位したシャルル7世のもとで国力の回復につとめることとなったのである。

- |                |             |
|----------------|-------------|
| ① A ヴェルダン      | B ポワティエ     |
| C ヘースティングズ     | D クレシー      |
| ② A ブルゴーニュ公ジャン | B アンジュー伯アンリ |
| C ブルボン公ルイ      | D コンデ公アンリ   |
| ③ A ブルボン朝      | B ランカスター朝   |
| C ヴァロワ朝        | D ブランタジネット朝 |
| ④ A ヘンリ3世      | B ジョン       |
| C リチャード1世      | D エドワード3世   |
| ⑤ A ブルボン朝      | B ランカスター朝   |
| C ヴァロワ朝        | D ブランタジネット朝 |

- ⑥ A ヘンリ3世 B ジョン C リチャード1世 D エドワード3世
- ⑦ A ヴェルダン B ボワティエ C ヘースティングズ D クレシー
- ⑧ A ヴェルダン B ボワティエ C ヘースティングズ D クレシー
- ⑨ A リチャード3世 B シモン=ド=モンフォール C ヘンリ7世 D エドワード黒太子
- ⑩ A パリ B ランス C オルレアン D ルーアン

1215年、王位継承権をめぐって、王と貴族との間で争いが起こり、  
 1215年6月、大憲章が制定された。大憲章は、王の権力を制限し、  
 貴族の権利を保障するものだった。大憲章の制定は、英国の歴史に  
 大きな影響を与えた。大憲章の制定は、英国の歴史に大きな影響  
 を与えた。大憲章の制定は、英国の歴史に大きな影響を与えた。  
 大憲章の制定は、英国の歴史に大きな影響を与えた。大憲章の  
 制定は、英国の歴史に大きな影響を与えた。大憲章の制定は、  
 英国の歴史に大きな影響を与えた。大憲章の制定は、英国の歴史  
 に大きな影響を与えた。大憲章の制定は、英国の歴史に大きな  
 影響を与えた。大憲章の制定は、英国の歴史に大きな影響を  
 与えた。大憲章の制定は、英国の歴史に大きな影響を与えた。

1215年	大憲章の制定	1215年	大憲章の制定
1215年	大憲章の制定	1215年	大憲章の制定
1215年	大憲章の制定	1215年	大憲章の制定
1215年	大憲章の制定	1215年	大憲章の制定
1215年	大憲章の制定	1215年	大憲章の制定
1215年	大憲章の制定	1215年	大憲章の制定
1215年	大憲章の制定	1215年	大憲章の制定
1215年	大憲章の制定	1215年	大憲章の制定
1215年	大憲章の制定	1215年	大憲章の制定
1215年	大憲章の制定	1215年	大憲章の制定

〔Ⅱ〕 次の文章を読み、下記の間(1～5)に答えなさい。

東スラヴ人は9世紀ごろまでに ① に定住するようになった。その中心地的な民族であるロシア人の建国は、ヴァイキングの首長 ② の指導で ③ 年に建国された ④ という都市国家を始めとしている。その後、ロシア人はキエフに南下してキエフ公国を建国した。キエフ公国は後にキプチャク=ハン国が成立し、ロシアは約240年の間、「タタール(モンゴル人)のくびき」に屈服したが、商業都市 ⑤ を中心とする公国を治めていた大公 ⑥ は、国土をほぼ統一し、⑦ 年にモンゴル支配から完全に脱した。また、大公は諸侯の力を抑えて強大な権力を握り、ロシアで初めてツァーリの称号をもちいた。

問1 空欄 ① に入れる語として最も適当なものを次の選択肢(A～D)の中から一つ選びなさい。

- A ドニエプル川中流域
- B ドニエストル川の北西部
- C ドナウ川の中流域
- D ドニエストル川とドナウ川の間

問2 空欄 ② ～ ④ に入る語句・年代の組み合わせとして、最も適当なものを選び、記号(A～D)で答えなさい。

- |           |       |         |
|-----------|-------|---------|
| A ② クヌート  | ③ 870 | ④ プレスト  |
| B ② クヌート  | ③ 848 | ④ ノヴゴロド |
| C ② リューリク | ③ 862 | ④ ノヴゴロド |
| D ② リューリク | ③ 850 | ④ プレスト  |

問 3 下線部(a)の国について書かれた次の文章(A~D)のうち、誤っているものを一つ選びなさい。

A キエフ公国は、10世紀初頭までに、黒海、コーカサス、そしてボルガ川南岸まで領土を拡大し、スカンジナビア半島とビザンツ帝国を結ぶ交易ルートの中継国となった。

B キエフ大公のイヴァンⅠ世は、ビザンツ帝国を訪問し、ビザンツ皇帝の妹と結婚し、キエフ公国はギリシア正教に改宗した。

C キエフ公国は、ビザンツ帝国の文化及びギリシア正教の影響を受け繁栄したが、11世紀後半に内紛で弱体化した。

D キエフ公国は、13世紀の前半に、モンゴルのチンギス=ハンの孫であったバトゥに敗れて滅亡した。

問 4 空欄 ⑤ と ⑥ に入る地名・人名の組み合わせとして、最も適当なものを選び、記号(A~D)で答えなさい。

- |          |            |
|----------|------------|
| A ⑤ モスクワ | ⑥ イヴァン3世   |
| B ⑤ キエフ  | ⑥ イヴァン4世   |
| C ⑤ ミンスク | ⑥ ウラディミル1世 |
| D ⑤ モスクワ | ⑥ イヴァン4世   |

問 5 空欄 ⑦ に入る年代として最も適当なものを次の選択肢(A~D)の中から一つ選びなさい。

- A 1380
- B 1423
- C 1455
- D 1480

〔Ⅲ〕 次の文章を読み、下記の問(1～5)に答えなさい。

19世紀には、西欧にとってのいわゆる「東方問題」が新たなる浮上してきた。この時期には、支配下の諸民族の独立運動のため、オスマン帝国の支配が衰退し、特にギリシアの独立運動は、利害関係をもつ有力国の干渉を招く結果となった。さらに、ロシアは、地中海への出口や不凍港の獲得と影響力の拡大を目指し南下政策を取っていた。オスマン帝国の支配下で自治を認められていた①とオスマン帝国との間で、②年に戦争が始まると、ロシアはオスマン帝国を支援してダーダネルス・ボスフォラス両海峡に関する特権を獲得しようとしたが、イギリスなどの干渉で最終的には成功しなかった。

さらに、ロシアは、1853年には、オスマン帝国領内のギリシア正教徒の保護を理由にオスマン帝国に侵入し、クリミア戦争が始まったが、翌年、イギリスと③が、オスマン帝国を支援してロシアとの戦いに加わったことにより、ヨーロッパの有力国同士の戦争に拡大した。クリミア半島(特にセヴァストーポリ要塞)を中心とした厳しい攻防のすえ、ロシアは敗れ、南下政策はまたも失敗した。ウィーン体制成立以来の最初の大戦争であったクリミア戦争は、1856年のパリ条約の成立により終わったが、<sup>(a)</sup>ヨーロッパの国際秩序に大きな変化をもたらし、<sup>(b)</sup>各国にも大きな影響をもたらした。

問1 空欄①に入る国名として最も適当なものを次の選択肢(A～D)の中から一つ選びなさい。

- A ブルガリア
- B イギリス
- C エジプト
- D イタリア

問 2 空欄 ② に入る年代として最も適当なものを次の選択肢(A~D)の中から一つ選びなさい。

- A 1820
- B 1825
- C 1831
- D 1840

問 3 空欄 ③ に入る国名として最も適当なものを次の選択肢(A~D)の中から一つ選びなさい。

- A プロイセン
- B ポーランド
- C フランス
- D セルビア

問 4 下線部(a)の条約について書かれた次の文章(A~D)のうち、誤っているものを一つ選びなさい。

- A ダーダネルス・ボスフォラス両海峡の外国軍艦の通航が禁じられた。
- B 黒海の中立化が定められた。
- C オスマン帝国の領土保全が図られた。
- D セルビア、モンテネグロ、ルーマニアの独立が認められた。



問 5 下線部(b)の国際秩序の大きな変化について書かれた次の文章(A～D)のうち、誤っているものを一つ選びなさい。

○ 下線部(a)の国際秩序は、19世紀後半から20世紀初頭にかけて大きく変化した。

A ロシアでは、クリミア戦争の失敗を契機に、アレクサンドル2世が自由主義的改革に着手した。

B ナポレオン3世の尽力により、オスマン帝国内のブルガリアは自治権を認められ、事実上独立した。

C 地中海への道を閉ざされたロシアは、バルカン半島への進出を試みた。

D ロシアとオーストリアがバルカン半島の覇権をめぐる競争を繰り広げ、ドイツとイタリアの統一にとって有利な情勢が現れた。



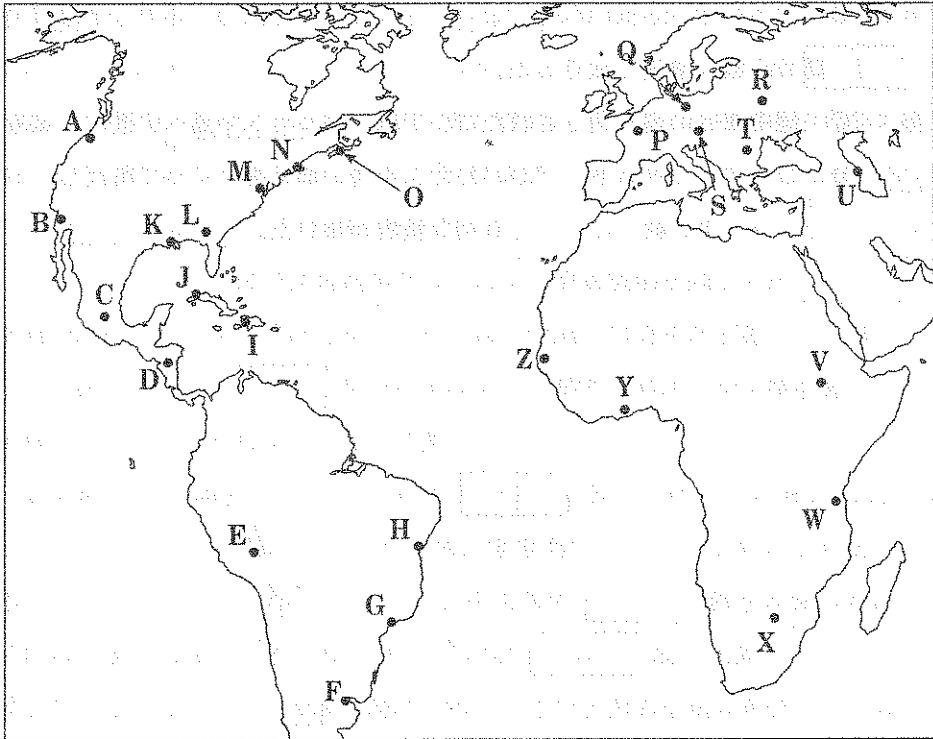
○ 下線部(b)の国際秩序は、19世紀後半から20世紀初頭にかけて大きく変化した。

○ 下線部(c)の国際秩序は、19世紀後半から20世紀初頭にかけて大きく変化した。

○ 下線部(d)の国際秩序は、19世紀後半から20世紀初頭にかけて大きく変化した。

[IV] 次の文章(1~10)が示す都市に最も近い地点を【図a】から選び、その記号(A~Z)を解答欄にマークしなさい。

【図a】



1. 1992年、この都市で「地球サミット(国連環境開発会議)」が開催され、持続可能な開発を実現するための行動計画である「アジェンダ21」が採択された。

2. この都市は、1986年、史上最悪レベルの原子力発電所事故を経験した。

3. 1963年、以下の一節が含まれた演説がこの都市でおこなわれた。

'I have a dream that one day on the red hills of Georgia the sons of former slaves and the sons of former slaveowners will be able to sit down together at a table of brotherhood.'

4. 1963年、この都市でアフリカ統一機構(OAU)の創設を導くアフリカ独立諸国首脳会議が開催され、この都市に OAU の本部が設置された。

5. この都市は、1957年にサハラ以南アフリカで初めて独立を果たした国の首都である。

6. 1884年11月から1885年2月にかけて、この都市で国際会議が開催され、アフリカの植民地分割を行う際の原則等が取り決められた。

7. 1814年9月、オスマン帝国を除くヨーロッパ各国の代表がこの都市に集まり、フランス革命とナポレオン戦争後の混乱の收拾とヨーロッパの新秩序設立を目指した会議が開催された。

8. この都市は、1804年に世界で初めて成立した黒人共和国の首都である。

9. 1783年のパリ条約でイギリスはミシシッピ川以東の領土をアメリカ領とすることを承認したが、一部の州・地域はその対象から除外され、1819年までスペインの統治下に置かれた。その地域が1822年にアメリカの準州となった後に州都とされたのがこの都市である。

10. この都市は、14世紀半ばから16世紀前半にかけて栄えたアステカ王国の都とされた。

11. この都市は、1945年9月2日に開催された第二次世界大戦終結を告げる開戦宣言の起草地である。

12. この都市は、1945年9月2日に開催された第二次世界大戦終結を告げる開戦宣言の起草地である。

[V] 次の文章を読み、下記の問(1～11)に答えなさい。

1941年12月8日(日本時間)、ハワイ真珠湾のアメリカ太平洋艦隊主力を日本機動部隊が攻撃、太平洋戦争が開始された。同月、日本軍はイギリス軍の拠点である香港を占領、翌42年1月にはフィリピンのマニラを占領してアメリカ軍を追撃した。2月には北方からのマレー攻撃を完了し、半島南端の島  も占領、3月にはジャワ・スマトラの占領に成功し、ここでは特に石油資源の確保に努めた。さらに同月、ラングーン(現ヤンゴン)を占領し、5月にはビルマ(現ミャンマー)のほぼ全土を手中に収めた。

しかし6月、それまで連戦連勝だった日本の海軍機動部隊主力が  の海戦で壊滅的な打撃を受けてから、日本軍は敗退への道をたどる。8月以降、ソロモン諸島南部の  島で日米両軍が争奪戦を展開、制空権を奪われた日本軍は消耗し、大きな犠牲を払って撤退した。

2年後の44年6月、アメリカ軍は  島に上陸、日本軍はほぼ全滅し、この結果日本列島はアメリカ空軍の爆撃圏内に入り、空襲が日常化する。追って10月、アメリカ軍はフィリピン中央部の  島を攻撃し始め、12月には完全に占領、そして翌45年1月には  島に上陸し、マニラを占領した。さらに4月には沖縄本島に上陸、ここで圧倒的な猛攻を受けた日本軍は6月にほぼ壊滅した。

その後、広島への原爆投下の翌々日、 協定によりソ連が参戦し、日ソ中立条約を破って満州・朝鮮・樺太に侵入、そしてソ連参戦の翌日、長崎に原爆が投下された。

問1 世界地図上で、東京から北極点まで、北に向けて延ばした線分を時計回りに回転させたとき、この線分は空欄    の場所にどの順番で触れていくか。最も適当なものを次の選択肢(A～D)の中から一つ選びなさい。

A ①—②—③

B ②—③—①

C ③—①—②

D ③—②—①

問2 空欄 ④ ⑤ ⑥ に入る地名の組み合わせとして、最も適当なものを選び、記号(A～D)で答えなさい。

- A ④ レイテ ⑤ ルソン ⑥ サイパン
- B ④ レイテ ⑤ サイパン ⑥ ルソン
- C ④ サイパン ⑤ レイテ ⑥ ルソン
- D ④ サイパン ⑤ ルソン ⑥ レイテ

問3 下線部(a)について、ハワイに関する次の記述(A～D)のうち、誤りを含むものを一つ選びなさい。

- A 18世紀末、オランダの探検家タスマンが到達した。
- B 19世紀初め、カメハメハ朝が全島を統一、王国を形成した。
- C 19世紀末、アメリカに併合されるが、王朝はそれよりも前、親米系住民のクーデタで倒されていた。
- D 最後の女王、リリウオカラニは民謡「アロハオエ」の作詞・作曲者である。

問4 下線部(b)について、この島々が現在属する国に関する次の記述(A～D)のうち、誤りを含むものを一つ選びなさい。

- A 1920年代、民族主義・イスラーム教・マルクス主義を柱とする民族独立運動を展開した人物が、戦後独立した共和国の初代大統領となった。
- B 1955年に開かれた第1回非同盟諸国会議の主催国となった。
- C 1960年代末に就任した大統領は反共親米路線をとった。
- D 1990年代末、大統領一族による利権独占に対する国民の怒りを背景に暴動が起き、大統領は退陣した。

問 5 下線部(c)について、沖縄に関する次の記述(A～D)のうち、誤りを含むものを一つ選びなさい。

- A 15世紀初めに中山王尚氏が琉球を統一し、明に朝貢した。
- B 琉球は17世紀初め、薩摩・島津氏に敗れて税を課せられ、また明が滅亡したことにより、大陸への朝貢をやめた。
- C 琉球は19世紀後半、日本政府によって鹿児島県に編入されたあと、沖縄県とされ、王国としての独立を奪われた。
- D 沖縄は第二次世界大戦の終結後も1972年までアメリカの占領下にあった。

問 6 空欄 ⑦ の場所がある現在の国名を書きなさい。

問 7 下線部(1)について、香港は1842年、アヘン戦争の講和条約でイギリスへ割譲されていた。この講和条約の名称を書きなさい。

問 8 下線部(2)について、フィリピンでは、1960年代半ばに就任した大統領が約20年の長期政権を維持する中で独裁化し、腐敗が進んだ。この大統領の名前を書きなさい。

問 9 下線部(3)について、ビルマはこの5年前の1937年、インドからの完全分離を果たしたばかりだったが、一方、30年代半ばから主に都市部で活動し、ビルマの即時完全独立を求めた党があった。この党の名称を書きなさい。

問10 下線部(4)について、1939年、満州国の国境をめぐる日本とソ連が衝突したのち、独ソ不可侵条約の成立を背景に停戦協定が結ばれた。この事件の名称を書きなさい。

問11 下線部(5)について、朝鮮戦争の概要・経過を3行以内で説明しなさい。

[VI] 次の文章を読み、下記の間(1～5)に答えなさい。

紀元前11世紀ころ、周は殷を倒し、①に都を定めて華北一帯を支配した。しかし、時代の推移とともに政治体制がくずれて弱体化し、紀元前770年、周は②への遷都を余儀なくされた。そして、周王の権威は衰え、諸侯は互いに争いをくり返すようになった。この時代を春秋時代という。さらに時代が下がり、紀元前5世紀には、周王の権威は完全に失墜し、諸侯が自ら王を称して抗争するようになった。

それ以降の時代は戦国時代と呼ばれる。戦国時代の最後に勝ち残ったのは、戦国の七雄と称される七国であった。諸子百家と呼ばれる思想家たちは、この春秋・戦国時代に活躍した。

問1 空欄 ① と ② に入る当時の都市名を漢字で書きなさい。

問2 下線部(a)について、この時代に覇を争った、「臥薪嘗胆」の故事で有名な二人の王の名前を漢字で書きなさい(記入の順序は問わない)。

問3 下線部(b)について、この「戦国の七雄」のうち、長江流域を支配していた国の名前を漢字で書きなさい。

問4 下線部(c)について、諸子百家の一人である孔子の出身国の名前を、漢字で書きなさい。

問5 下線部(c)について、秦の全国統一にとりわけ大きな役割を果たした思想家たちが属した学派の名称を漢字で記しなさい。